



■ 町家巡遊 2012

今年で5回目となる「町家巡遊」が9月22日（土）～10月8日（月・祝）の日程で行われました。町家巡遊は“金澤町家”を巡り、建物見学の他、展示・講義・飲食などを気軽に楽しみながら町家の魅力を体感できるイベントです。ふだん触れる機会が少ない町家の素晴らしさを再発見し、町家と親しむ様々なプログラムを提供しています。

今回のメインエリアは旧北国街道の北端である大樋町と春日町。金沢湯涌江戸村の土屋敦夫村長をガイドにお迎えした旧北国街道ツアー、最中の皮という珍しい素材をとりあげた工場見学ツアー、そして街道の裏路地を巡るツアーなど、町家の建ち並ぶ旧街道の魅力を様々な視点から楽しんでいただきました。

その他のエリアについてもツアー形式のイベントを多数企画いたしました。どのツアーも満員御礼。町家ショップに企画いただいたイベントも多数行われ、今回も大盛況に幕を閉じました。今年のイベントの様子は町家巡遊ホームページ「町家瓦版」でもご紹介しています。

町家巡遊HP：<http://kanazawa-machiya.net/mj/>



ツアーの様子



イベントの様子

町家巡遊の最終日、10月8日には金沢市東山のカフェ&ギャラリー椋で特別対談と金澤町家認定式が行われ、夜にはクロージングパーティを開催し、金澤町家にかかわる多くの方々と、交流を図る機会となりました。

◆特別対談 アズビー・ブラウン×山崎幹泰

金沢工大未来研究所所長アズビー氏と金沢工大准教授山崎氏による対談が行われました。

アズビー氏はアメリカ・ニューオリンズの出身。ニューオリンズの住民たちが古い木造建築を好んで住まうようになり、観光地として活性化させた街並みを紹介していただきました。アメリカでは、個々の建物の履歴に関するデータベースを持っていること、また、建物の構造や傷み具合など建物価値を評価するために保険会社が5回も調査を行っていることが印象的でした。

金沢では古くなった建物にあまり価値を見出さず流通市場に乗らない物件になっています。建物の評価をしっかりとできる体制を整え、さらに、都心での町家の生活に価値を認める方が増えたら町家は無くならないのではないのでしょうか。



特別対談の様子

【謝辞】「町家巡遊 2012」にご協力いただいた町家の方々、及びスタッフの皆様に感謝申し上げます。

町家巡遊の開催に合わせて「金澤町家巡遊ショップマップ」を作成しました。町家を素敵に活用されている個性なお店を紹介しているガイドマップです。犀川エリア・浅野川エリア・むさしエリア・大野エリアの約70軒の町家ショップを掲載。一年を通して使え、手のひらサイズなので、いつもバックに忍ばせて、思い立ったらいつでも町家巡りができる、そんなアイテムです。

金澤町家巡遊ショップマップは掲載の町家ショップ等で配布しています。詳しくは、金澤町家研究会事務局へお問い合わせください。



金澤町家ショップマップ

◆優良金澤町家認定式

外観に金澤町家の歴史的な様式をよくとどめている住宅に対して、金澤町家研究会が「優良金澤町家」として認定させていただき、認定証と建物に取り付けていただくプレートを受与させていただいております。今年は新たに21軒の町家を認定させていただき、平成22年の開始以来、優良金澤町家は合計93軒となりました。

認定式には9組の町家利用者が出席され、スライドで町家の紹介とともにお住まいの感想を述べていただきました。みなさまが町家に対しても愛着をもって使っておられる様子がうかがえました。

今回認定の優良町家利用者の一人、四釜さんは金沢市より事業委託を受け当研究会が行っている「金澤町家流通コーディネーター事業」で出会った此花町の町家を、住まい兼ギャラリーとして借りることとなり、11月4日（日）に「金澤町家ギャラリー」としてオープンしました。



認定式の様子



金澤町家ギャラリー



優良町家表示プレート

■ 町並み見学ツアー ～高岡市吉久・伏木編～

6月23日（土）、歴史ある佇まいが残る高岡市の北部、吉久・伏木を参加者の方々と共に訪ねました。当日は、立山連峰がくっきりと望める快晴で、吉久町家まちづくり研究会（H23.10月発足）の丸谷さんご夫妻にご協力いただき、吉久の丸谷家（旧津野家住宅）※にて街の歴史・界隈のお話を伺い、町家保存・継承について参加者の方々とともに意見交換等も行いました。吉久は藩政期と殆ど変わらぬ街道筋に40棟あまりの伝統的な町家が建ち並んでいます。その一軒、登録有形文化財に指定されている能松家も拝見させていただき、能松さんのお話もお伺いいたしました。

伏木では、地元の観光ボランティアガイド「比奈の会」の方々にご案内いただきました。古くから越中の政治・経済の中心として栄えた伏木は、北前船で財を成した廻船問屋があり、国外からの文化の影響を受けた建築も数多く残っています。銅板張りの擬洋風建築、モルタルなどで装飾した看板建築等、港町の歴史を感じさせる建物を案内いただきました。地元の方のガイドのおかげで、元廻船問屋で今もお住まいされている、ふだんはなかなか拝見できないような町家も急きょ拝見させていただくことができました。

ご案内いただいた方々のおかげで、吉久・伏木の魅力を十分に知り、楽しむ機会となりました。これからも吉久町家まちづくり研究会の方々とは様々な交流を進めていければと思います。高岡市内の建築士や学生で構成される高岡の建築とまちづくりネットワークが制作した「高岡近代建築マップ伏木・吉久編」は同地区の歴史や近代建築物等を紹介した観光マップです。みなさまもこのマップで建物巡りを楽しんで、いかがでしょうか？

※丸谷家（旧津野家住宅）は2012年9月に国の登録有形文化財に指定されました。



高岡市吉久の町並み



旧伏木銀行（高岡商工会議所）
高岡市歴史的意匠建造物



高岡近代建築マップ

NPO法人
金澤町家研究会

【お問い合わせ】 事務局

〒920-0831 金沢市東山2-1-7 ギャラリー椋内 Tel. 076-253-3517

E-mail kanazawa-machiya@nifty.com

http://kanazawa-machiya.net